

2008年01月02日(水)



謹賀新年

お健やかに初春をお迎えのことと存じます。旧年中は一方ならぬご厚情を賜り誠にありがとうございました。

我がまち養父市八鹿町の元日は、一面の雪景色となりました。

当社融雪事業においても、この雪を友とし邁進していく所存です。

どうか本年も宜しくお願い申し上げます。



2008年01月31日(木)



戸倉散水融雪設備運転開始！

兵庫県宍粟市戸倉地区の戸倉散水融雪設備が運転を開始しました。

当地域は河川水不足により、冬季における散水融雪設備の連続運転が困難でした。

しかしこの度、1度散水した水をリサイクルするシステムを施工し、設備の連続運転能力向上の為に大きく貢献しました。

ここにも、当社の融雪設備の維持、修繕から培われた融雪技術が生かされています。

発注者：国土交通省姫路河川国道事務所 様

施工：(株)モリモト



現場にて、ヤマメの放流事業を実施！

兵庫県新温泉町千谷現場において、地元漁協の皆様、近隣小学校生徒達の皆様とともにヤマメの放流事業を行いました。

但馬地方は美しい自然環境を有し、コウノトリやオオサンショウウオなどの天然記念物が生息する地域です。

しかし、今回の工事においても、川の中での工事をしなくてはなりません。その結果少なからず、自然環境に影響を及ぼすこととなってしまいます。そこで、当社はこの美しい但馬の環境を後生に残し、今以上に豊かにするために、子供達とともにこの事業を取り組みました。又、今回ヤマメ放流事業を通し、小学生に自然環境について考えてもらい、自然環境の保全がとても大切なことであることを学んでもらいました。



ヤマメ放流の様子

又、今回の事業の主管をされた、岸田川漁協組合長をはじめとする漁協の皆様、心から感謝を申し上げます。
本当にありがとうございました。



2008年07月29日(火)

事務所長表彰を頂きました！！

この度、国土交通省近畿地方整備局姫路河川国道事務所様より、神戸新聞でも成果が報道された、戸倉散水融雪設備改造工事について、事務所長表彰を頂きました。ここに心から感謝を申し上げます。又、当時施工等において、御協力頂いた関係各位に対しましても、改めまして心から御礼を申し上げます。



2008年10月29日(水)

今年も戸倉みなみ事業所地元秋祭りに参加

平成20年10月9日、兵庫県戸倉のモリモト工事現場事業所付近の地区において、地区秋祭りが開催されました。モリモト事業所は、今年も日頃の感謝こめ、ブースの出店を行い、地区の子供達とともに、お祭りを楽しみました。

当たりくじ付のポップコーンは、またまた子供達に大盛況でした。当たりくじを引いた子供達は、大満足！！。当たりくじは、70年代の日本の名車チョロキュウとぬいぐるみ！！。

ふだん現場付近の住民に喜ばれる事の少ない、建設業者としては、今年も感激の一日でした



祭りふうけい



出店ブース

2009年01月06日(火)



新温泉町千谷散水融雪設備竣工

兵庫県と鳥取県の県境に位置する国道9号線新温泉町千谷散水融雪設備が、リニューアルされ今期竣工しました。

旧式の散水融雪設備が、最新の取、散水ピット、取水ポンプ設備、除塵設備、散水設備、光通信機能を持つ遠方操作制御設備を有する最新式の設備として生まれ変わりました。それらは設備全体の信頼性を向上させ、雪道交通の確保に貢献します。



【テクニカルデータ】

融雪面積：11,770m²

ポンプ設備：取水ポンプ1台

散水ポンプ4台

除塵設備：傾斜型スクリーン4m³ / min

横断水路スクリーン

操作制御設備：遠方操作制御型

散水ポンプピット水量：200t

発注者：国土交通省豊岡河川国道事務所 様

竣工：平成20年11月

施工：(株)モリモト



2009年01月14日(水)



標高760メートル氷点下でも融雪設備健在!

前年度改修を終えた当社施工戸倉散水融雪設備は、標高760mの豪雪地帯に位置し、氷点下においても雪道交通の維持に貢献しています。



昼4時氷点下マイナス0度



のべ積雪高さ2mを越えているとのこと。

2009年01月27日(火)



山東P A無散水融雪設備稼働中

兵庫県朝来市国道483号線山東パーキング出入路の浅層地熱利用無散水融雪設備は、今年も地熱を熱源に融雪を行っています。



降り続いた雪も一段落ですが、浅層採熱器（直径2m長さ20メートル）12基は地熱回収に休むことなく稼働しています。



地熱利用のこの設備は、夏季の道路の熱を地中にため込み、冬季それらを取り出して融雪熱源として利用するという画期的な設備です。同様な設備も多数ありますが、当設備は国内最大級の融雪規模で知られ、特徴として地面からごく浅いところで蓄熱作業を行っています。

2009年05月12日(火)

「エコカーってなに？」モリト新採用車発進！



このたび、モリト営業用車両に新たに加わった、トヨタIQです。素朴なエコ感覚と、かわいらしいデザインが特徴のようです。



全長3mに満たない車のサイズは、これまでの使い勝手を一新させるだけでなく、車としての必要機能の最小限化を強調させ、エコカー本来の意味を再確認考させます。

「環境、エコ」などと叫ばれ、それらに適応した生活思考が示されるなか、ハイブリットカー（直訳：雑種車）が注目されています。

しかし、それらから導かれる物は、本当に「環境、エコ」に適合された物なのか否か、疑問を感じさせる場合があります。

ハイブリットカーの販売価格は、税金まで投げられ、補助対象とされているにもかかわらず、なぜこんなに高価なのでしょう？



答えは、製造や開発に、余分にお金がかかっているためでしょう。

なぜ余分なお金がかかるかというと、そのプロセスに、たくさんの、電気や石油が使われているからであるのは明白です。

それが本当にエコなのでしょう？

太陽光発電、無理なりサイクル、バイオ燃料・・・などなど、本当のところは、どうなのでしょう？
販売戦略又は世界的経済的政策にだまされているだけかも知れません。

エコとは、物を指すのではなく、最低限で満足しようと努力する「人の意識」をさすものかもしれません。その意識から生まれるのが本物のエコ商品でしょうか。

それ以外から生まれるものは、「エゴ商品」かも知れませんね。

もしくは「エコ（エコノミック：経済戦略的）商品」。

2009年07月23日(木)



今年も、事務所長表彰を受賞！

今年も、国土交通省近畿地方整備局姫路河川国道事務所様より、戸倉南散水融雪設備改造工事について、事務所長表彰を頂きました。3年連続の国土交通省 近畿地方整備局 様からの受賞となりました。心から感謝を申し上げます。又、当時施工等において、御協力頂いた関係各位に対しましても、改めまして心から御礼を申し上げます。



2009年07月29日(水)

ドラゴンカヌー選手権大会に出場

7月26日、京都府京丹後市ドラゴンカヌー大会実行委員会が主催する、2009京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会に、当社勇士が初出場してきました。ドラゴンカヌーにそれぞれ10名のクルーが乗り、300mのタイムを競いました。



スタート時間を待つ
クルー（モリモトの
勇士達）



いざ出陣！！



スタート地点までの移動
が、最初で最後のボート
漕ぎ練習・・・。



結果は・・・
秘密じゃ！！

市民カップとして30チーム
メロンカップとして81チーム
合計111チームが競いました。

初参加であった当社チーム
「ハッスルするモリモト」は
入賞はならずでしたが、
確実な手応えを感じつつ
全員、来年のリベンジを誓い合ったのでした。



2009年08月17日(月)



日本人の主食、米

お盆を過ぎ、当社社屋まわりの水田の稲は、農家の皆様のご努力で今年も稲を付けています。

日本人の主食とされてきた大切なお米。いつまでもお世話になりたいものです。しかし現在の日本が抱える農業に対する問題は、そんな願いも揺るがしかねません。我々は、高級な肉や魚を食べられなくなっても少々我慢できると思いますが、お米が食べられなくなると、我慢できないでしょうね。これからも毎年、こんな田んぼ景色が見られるとよいですね。

